

イノベーションの歴史

自動化社会[1945～74年]

情報化社会[1974～2005年]

1933

立石電機製作所を創業

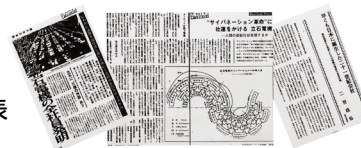


1959

「社憲」を制定

1970

「SINIC理論」を発表



1990

オムロンに社名変更
企業理念体系を制定

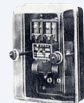
1998

企業理念を改定(1回目)

1933 — レントゲン写真撮影用タイマを製造開始



1934 — 汎用型電磁継電器を開発



1943 — **日本初** マイクロスイッチを開発



1948 — 立石電機株式会社に商号変更

1955 — 「オートメ元年」と称し、オートメーション事業に本格進出

1960 — **世界初** 無接点近接スイッチを開発

1963 — **日本初** 食券自動販売機を開発



1964 — **世界初** 電子式自動感应式信号機を開発

1966 — メカニカルリレー「MY」を開発



1967 — **世界初** 無人駅システムを実現



1971 — **世界初** オンライン現金自動支払機を開発

1972 — オムロン 太陽(株)を設立

1973 — プログラマブルコントローラーを開発
— オムロン血圧計1号機が誕生



1974 — (株)立石ライフサイエンス研究所を設立

1980 — 家庭用電子体温計1号機を開発

1987 — **世界初** ファジィコントローラーを開発



1988 — オランダに欧州地域統轄会社を設立
シンガポールにアジア・パシフィック地域統轄会社を設立

1989 — アメリカに北米地域統轄会社を設立

1990 — 長期ビジョン「Golden 90s」を開始
(1990～2000年)

1991 — 横浜研究所、熊本研究所を開設

— ファジィ機能搭載血圧計を開発



1994 — 中国に地域統轄会社を設立
— 太陽光発電用パワーコンディショナーを発売

1995 — **業界初** 視覚センサーを開発

— 車間距離警報装置を開発

— 顔画像センシング技術
「OKAO Vision」を開発



イノベーションの歴史

最適化社会[2005年～]

1999

カンパニー制を導入

2006

企業理念を改定(2回目)

2015

企業理念を改定(3回目)

2022

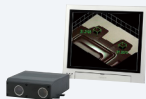
定款に「企業理念」を記載

2000 — 日本初 デジタル
ファイバセンサー開発2001 — 長期ビジョン「Grand Design 2010」を開始
(2001～2010年)2003 — グローバルR&D京阪奈イノベーションセンタを設立
— オムロン ヘルスケア(株) を設立
— オムロン リレーアンドデバイス(株) を設立

2004 — 腕を入れるだけの全自動血圧計を開発



2005 — オムロン上海R&D協創センタを開所

2007 — 世界初 リアルカラー
3次元視覚センサーを開発2009 — 世界初 省エネルギー自動分析システム
CO₂見える化システム「ene-brain」を発売2010 — オムロン スイッチアンドデバイス(株) を設立
— オムロン オートモーティブエレクトロニクス(株) を設立2011 — 長期ビジョン「Value Generation 2020」
を開始 (2011～2020年)

— オムロン ソーシャルソリューションズ(株) を設立

— 業界初 「AICOT®」搭載の
パワーコンディショナーを発売

2014 — オムロンベンチャーズ(株) を設立

2015 — QR乗車券とICカード乗車券が併用可能な
自動改札機システムの運用を開始2016 — 世界初 予知保全機能付
スカラロボットを開発— 温湿度、気圧、照度、紫外線、音圧、加速度を
計測する環境センサーを開発

— 世界初 AI搭載車載センサーを開発

2017 — AI搭載 マシンオートメーションコントローラーを開発

2018 — イノベーション推進本部(IXI)設立

— 世界初 マルチカラー高性能スマートカメラを発売

— 世界初 ウェアラブル血圧計を開発

— ドライバーの安全運転管理サービス
(DriveKarte®) 提供を開始— セルフチェックイン端末
(スマーレ®) を発売2019 — 日本初 住民同士の送迎とバス・タクシーなどの
公共交通機関を組み合わせたMaaSスタート

— 車載事業を売却

— アメリカで
心電計付き上腕式血圧計を発売

2020 — 世界初 統合コントローラーを発売

— 非接触ハイブリッド
エレベータースイッチを発売2022 — 長期ビジョン「Shaping the Future 2030」
を開始 (2022～2030年)

2023 — データソリューション事業本部を設立

— 高速3D検査を可能とする
「CT型X線自動検査装置」を開発2024 — 構造改革プログラム「NEXT2025」を開始
(2024年4月1日～2025年9月30日)